

ハラスメント相談センターだより

第 23 号 2018 年 3 月 発行



日増しに暖かくなり、桜が待ち遠しい季節になってきましたね。
今号では、デート DV について取り上げます。夫婦間でおこる暴力のことを DV (domestic violence) と呼びますが、交際中のカップルの間でおこる暴力を、一般にデート DV と呼びます。DV という言葉に比べて、デート DV という言葉はあまり認知されていないといわれています (内閣府, 2014)。

若者世代のデート DV の被害 恋人からの監視や干渉、暴力といった「デート DV」を、交際経験のある 10 代女性の 44% が経験していることが支援団体らの広域調査でわかった。東日本や九州など 1 都 10 県の中高大学生の男女約 2800 人が対象で、10 代の全国的な被害実態調査は初めて。裸や性行為の写真を要求されるなど深刻な被害も約 1 割ある。

(2017 年 3 月 13 日付け、毎日新聞より引用)

デート DV は、大学生のみなさんにとって、決して無関係なことではありません。

みなさんも、以下のようなことをしたり、されたりした経験はありませんか？
自分の経験を振り返ってみましょう。

- 殴ったり、叩いたりする。またはそのような素振りをして脅かす
- 物を投げつける
- 無視する
- バカ、死ぬ、などの傷つくことを言う
- お前が悪い！と一方的に責める
- 交友関係を制限する
- 自分以外の人と頻繁に連絡を取ったり、親しげにしていると不機嫌になる
- 自分との予定を最優先にしないと怒る
- LINE や電話の履歴、SNS のやりとりなどをチェックする
- デートの費用をいつも払わせる
- 貸したお金を返してくれない
- 気分が乗らないときに、性的な行為を強要する
- 避妊に協力しない

被害に遭われた方の心理

- 自分にも悪いところがあったから受けたことだ
- 要求を断ったら、嫌われてしまうかもしれない
- 自分さえ我慢すればいい
- やさしくしてくれるときもある
- いつか変わってくれるはずだ

このような気持ちから、別れることをためらったり、自分の気持ちを伝えられなくなったりすることがあるとされています。また、否定的な言葉を受け続けることで自信をなくし、相手への依存が強まってしまうという悪循環もよくみられるパターンです。

DV の加害者－被害者の関係は、しばしば「支配－被支配」の関係に例えられます。お互いが対等な関係でいられるために大切にすべきことを考えてみましょう。

相手のことを大切にする パートナーに、自分のことだけを見てほしい、いつでも連絡を取りたい、もっと親しい関係になりたいといった気持ちを抱くのは当然のことです。ですが、パートナーと意見が異なったときに、自分の意見を押し付けてはいけません。まずはその違いがあることを認め、尊重しましょう。そして、その違いについて、自分の意見を適切に伝えましょう。

自分のことを大切にする パートナーを尊重することと同じくらい、自分自身のこころや身体を大切にすることも大事なことです。誰でも、自分のことは自分で決めることができます。納得いかない要求をされたとき、不快に感じる言動を受けたとき、暴力を振るわれたり、振るわれそうになったとき、はっきり「NO」の意思表示をすることが、自分自身を尊重することにつながります。また、家族、友達や、以下のような相談機関に相談することも、自分を守ることになります。

相談機関；もし、デート DV の被害を受けたら

女性の人権ホットライン（名古屋法務局）、日本司法支援センター（法テラス）、愛知県女性相談センター、警察や自治体の窓口など、さまざまな機関が相談を受け付けています。また、名古屋大学ハラスメント相談センターでも相談をお受けすることができます。解決が難しい問題もあると思います。一人で悩まず、一緒に考えましょう。



名古屋大学 ハラスメント相談センター

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
工学部 7号館 B棟 2階
開室時間 月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00
TEL/052-789-5806 FAX/052-789-5968
E-mail/h-help@adm.nagoya-u.ac.jp

（東山・鶴舞・大幸共通）

鶴舞分室・大幸分室も開室中です。

詳細はHPをご覧ください。

<http://www.sh-help.provost.nagoya-u.ac.jp>

※名古屋大学ハラスメント相談センターは、名古屋大学の構成員の方のための相談機関です。

参考資料

親密な関係における暴力の分類と促進要因の検討 2003 対人社会心理学研究

人と人とのよりよい関係をつくるために 2010 内閣府男女共同参画局

男女間における暴力に関する調査 2014 内閣府男女共同参画局

デートDV白書 VOL5 2017 エンパワメントかながわ